

◆プログラム

日 時：2012（平成 24）年 3 月 6 日（火）

会 場：東京大学 本郷キャンパス

| 時刻 | A 会場 工 8 号館 83 講義室 (日→英 通訳対応) | B 会場 工 11 号館 講堂 | C 会場 工 1 号館 15 号講義室 | D 会場 工 14 号館 141 講義室 |
|---------------------|--|---|--|---|
| 9:20 | 受付開始(総合受付 工学部 14 号館) | | | |
| 9:30 | 開 場 | | | |
| 10:00 - 12:00 | 【1A】「東北地方太平洋沖地震津波の特性と津波災害からの復旧・復興」 津波特定テーマ委員会 | 【1B】「工学連携で日本の技術界に活力を」 土木学会 東日本大震災特別委員会 事務局(関係学会 会長企画) | 【1C】「激甚化する降雨災害にどう向き合うか」 水工学委員会 | 【1D】「地域防災計画のあるべき姿 ～低頻度巨大地震による広域災害に備えて～」 地域防災計画特定テーマ委員会 |
| 12:00 - 13:00 | 休 憩 | | | |
| 13:00 - 15:00 | 【2A】「被災地域復興の現状・課題・今後① ～グローバルな視点から考える～」 地域基盤再構築特定テーマ委員会、復興創意形成特定テーマ委員会 | 【2B】「津波による水位推計と減災」 津波推計・減災検討委員会 | 【2C】「液状化被害からの教訓」 液状化特定テーマ委員会 | 【2D】「明日の天変地異に備える連携 ～「安全な国土への再設計」タスクフォース～」 「安全な国土への再設計」支部連合 |
| 15:00 - 15:20 | 休 憩 | | | |
| 15:20 - 17:20 | 【3A】「原子力安全における土木工学の役割 ～地震・津波のリスク軽減への貢献」 原子力安全土木技術特定テーマ委員会 | 【3B】「緊急災害マネジメントのあり方について ～災害時のヒト・モノ・技術の有効活用～」 災害対応マネジメント特定テーマ委員会、復興施工技術特定テーマ委員会 | 【3C】「ICT 技術による耐災対策および震災時の交通 ～いざという時役に立つ ICT をめざして～」 情報通信技術を活用した耐災施策特定テーマ委員会 | 【3D】「被災地域復興の現状・課題・今後② ～合意形成の視点から考える～」 地域基盤再構築特定テーマ委員会、復興創意形成特定テーマ委員会 |
| 17:30 | 閉 会 | | | |